

# 全議案を全会一致で可決

3月定例会は3月7日～17日まで開かれました。初日の施政方針で佐藤誠七町長は「町の最重要課題である人口減少対策をはじめ、真に町民にとって必要な新たな取り組みや、未来につながる施策を展開していく」と述べました。令和5年度当初予算を含む議案42件などを審議し、全議案を全会一致で可決しました。



町長施政  
方針全文

## 令和5年度の主な事業

### 《人づくり》 伴走型の相談支援へ

VOICE  
議員の声

- ◎ 妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行います。 646万2千円
- ◎ 豪雨時の排水が課題の、白鷹中学校グラウンド整備に向けた検討を進めます。 500万円
- ◎ 多様な働き方を求める人と人手不足に悩む企業などをつなぐ組合を作ります。 1000万円
- ◎ 修学旅行費の支援など荒砥高校への支援を増やします。 1135万3千円

孤立感・不安感を抱かず  
安心の子育てができる取  
り組みが少子化対策につ  
ながることを望みます



### 《産業・経済》 航空レーザー測量実施へ

- ◎ 航空レーザー測量を行うことで、森林の境界明確化や活用につなげます。 4920万4千円
- ◎ ふるさと応援事業(ふるさと納税)を民間委託し寄付額の増加を目指します。 4712万3千円
- ◎ 町外からの新規就農者を定着させるため、機械購入費や生活費などを補助します。 252万円
- ◎ 企業の立地と雇用を増やすため、設備投資に対する支援を行います。 3000万円



航空レーザー測量のイメージ